

## モンゴル

モンゴル経済は、2008年末から2009年初頭の世界経済金融危機による生産の減少から、2010年を通じて力強い回復の動きを見せた。鉱業部門へ大規模な外国及び国内の投資と、主要輸出品の市場価格の上昇は、回復の主要な原動力となっている。2010年の経済成長率は速報値では6.1%となった。鉱工業生産額は危機以前の水準に戻り、財政収支は改善した。しかし、インフレや失業は高い水準に止まっており、貿易収支の赤字も拡大している。さらに農業部門は2010年初の厳冬による家畜の大量死亡によって、大きな打撃を受けており、農業付加価値額は16.8%の減少となった。

2010年第4四半期には、急速な経済回復は一段落を見せ、その傾向は2011年1月においても引き続けている。

### マクロ経済指標

速報値によれば、2010年のモンゴルのGDPは名目値で8.3兆トゥグリグまたは61億ドルとなった。実質経済成長率は6.1%である。

消費者物価上昇率は、2010年末は前年同期比13%で、前年末の同4%から上昇した。2011年1月には同13.8%とさらに上昇している。2010年末においてCPIは全ての品目で上昇しており、最も上昇率が高かったのは教育と食料・非アルコール飲料で、前年同期比18%となった。ウランバートルにおいてはこれらの品目の上昇率は20%を越えており、食料品に対する支出割合の高い都市部の貧困層に大きな打撃を与えている。なお、2010年の年間平均物価上昇率は10.1%であった。

2010年における年間平均の通貨トゥグルグの対米ドル為替レートは1ドル=1,359トゥグルグであったが、2011年1月には同1,256トゥグルグに増価している。これはそれぞれ前年同期比で14.7%、13.7%の増価となっている。トゥグルグは2010年平均において、中国元に対して前年比10%、ロシアルーブルに対して同14.3%、それぞれ増価している。日本円及び韓国ウォンに対しても増価を記録した。

経済全般の回復にもかかわらず、登録失業者数の水準は高く、2010年末で38,300人となっている。2010年に提供された新たな就業機会のほとんどは石炭及び鉄鉱の採掘部門であった。製造業は食品部門を除いて、ほとんど新たな雇用を生み出していない。2011年1月の登録失業者数は、2010年末とほぼ同水準であった。

2010年の財政収支は22億トゥグルグの黒字を記録した。2010年の財政収入は前年を54%上回り、財政支出は前年を32%上回った。政府は選挙公約を履行するために、2010年に「人間開発基金」から、260万人の国民全員に対し、1

人当たり12万トゥグリグの現金給付を行った。現金給付の総額は2,760億トゥグリグで、財政収入の9%に相当した。財政支出の総額は3兆1,000億トゥグリグで、内訳は経常支出が74%、資本支出が18%、純融資額が8%となっている。2011年1月1日の税率68%の臨時収益税の廃止にも関わらず、付加価値税、法人税、支出税などの増収により、2011年1月の財政収入は前年同月を62.5%上回った。しかし同月に財政収支は270億トゥグリグの赤字を記録した。これは賃金・給与、資本、財・サービスへの支出の増加によるものである。政府は2011年について、GDPの9.9%の財政赤字を生じさせる拡張的な財政支出計画を承認した。

2010年末の外貨準備額は史上最高の21億ドルであった。これはモンゴルの輸入額の8.3カ月分に相当している。2011年1月において、外貨準備はさらに3,720万ドル増加した。

### 産業部門と外国貿易

2010年の鉱工業生産額は前年比10%増であった。このうち、鉱業は前年比11.4%増、製造業は同10.1%増、エネルギー・水供給部門は同5.8%増であった。しかし12月の生産額は前年同月比5%減となった。2011年1月は同2.7%増であった。

石炭及び鉄鉱が鉱業部門の成長の主要な原動力となった。2010年の石炭の採掘量は前年の倍の2,520万トン、鉄鋼石の採掘量は倍増以上の320万トンであった。原油の採掘量は前年比17%増の220万バレルであった。2010年の基礎金属の生産量は前年比30%増、非金属鉱物製品の生産量は前年比54%増であった。2010年の鉱業部門の売上額の92%が輸出向けであったのに対し、製造業部門では輸出向けは18%に止まった。

モンゴルの貿易は2010年後半に危機以前の水準に回復した。2010年の貿易増額は62億ドルとなり、前年を53.5%上回った。輸出は前年比53.8%増の29億ドル、輸入は同53.3%増の33億ドルで、貿易収支は4億ドルの赤字となった。輸入の増加は、主に2010年に本格的に開始されたオユートルゴイ他の鉱山開発やインフラ整備に投入される機械設備、燃料によるものである。

2010年の輸出先は67か国、輸入先は125か国であった。中国への輸出は全体の85%を占めた。一方、ロシアからの輸入は全体の33%、中国からの輸入は同じく31%を占めた。同時期に日本からの輸入は全体の6%、韓国からの輸入は5.6%であったが、両国への輸出は低いレベルに止まった。2010年の輸出品目数は1,155、輸入品目数は3,968で、それぞれ前年から15%、7.4%増加した。

(ERINA調査研究部研究主任 Sh. エンクバヤル)

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2010年1Q	2Q	3Q	4Q	2010年12月	2011年1月
実質GDP成長率 (対前年同期比:%)	7.3	8.6	10.2	8.9	▲ 1.3	6.1	8.4	4.7	7.2	5.1	—	—
鉱工業生産額 (対前年同期比:%)	▲ 4.2	9.1	9.7	2.8	▲ 3.3	10.0	13.4	11.6	19.8	▲ 4.8	▲ 5.0	2.7
消費者物価上昇率 (対前年同期比:%)	9.5	6.0	15.1	22.1	4.2	13.0	8.5	11.4	10.6	13.0	13.0	13.8
登録失業者 (千人)	32.9	32.9	29.9	29.8	38.1	38.3	37.1	39.9	38.9	38.3	38.3	38.3
対ドル為替レート (トゥグルグ)	1,205	1,180	1,170	1,169	1,437	1,359	1,438	1,383	1,339	1,271	1,234	1,256
貿易収支 (百万USドル)	▲ 113	107	▲ 114	▲ 710	▲ 229	▲ 379	▲ 78	31	▲ 193	▲ 139	▲ 58	▲ 140
輸出 (百万USドル)	1,064	1,542	1,948	2,535	1,903	2,899	499	810	699	891	349	209
輸入 (百万USドル)	1,177	1,435	2,062	3,245	2,131	3,278	577	779	892	1,030	407	348
国家財政収支 (十億トゥグルグ)	73	123	133	▲ 306	▲ 329	2	▲ 109	▲ 58	148	22	▲ 69	▲ 27
国内貨物輸送 (百万トンキロ)	10,268	9,693	9,030	9,051	8,981	12,106	2,952	2,734	3,775	3,399	—	—
国内鉄道貨物輸送 (百万トンキロ)	9,948	9,226	8,361	8,261	7,817	10,268	2,056	2,329	3,076	2,808	872	783
成畜死亡数 (千頭)	677	476	294	1,641	1,733	10,320	6,311	3,416	96	497	—	65

(注) 消費者物価上昇率、登録失業者数は期末値、為替レートは期中平均値。

(出所) モンゴル国家統計局 『モンゴル統計年鑑』、『モンゴル統計月報』各号 ほか